

**第3回 ロクハ公園プール検討委員会
議事要旨**

1. 日時

令和5年11月27日（月）10:00～12:00

2. 場所

草津市役所5階 502会議室

3. 委員

下表のとおり

※五十音順（敬称略）

氏名	所属名等
いちい よしふさ 市井 吉興	立命館大学 産業社会学部 教授
くちの たかし 口野 隆史	京都橘大学 元発達教育学部 教授
くぼた あきひろ 窪田 明裕	草津・栗東地区労働者福祉協議会 事務局長
くまがい いちえ 熊谷 一恵	志津小学校 PTA 会長
こばやし のぞみ 小林 望	草津市公立保育所・公立認定こども園保護者と先生の会連絡協議会 会長
さとう みか 佐藤 三佳	公募
すずき のぼる 鈴木 登	草津市まちづくり協議会連合会
ふだもと いずみ 札本 泉	公募

4. 欠席委員

1名（窪田委員）

5. 事務局

草津市 建設部：松尾部長、島田副部長

草津市 建設部 公園緑地課：森課長、松尾課長補佐、梅原課長補佐、児島主査、前田主任

6. 傍聴者

0名

7. 委託事業者

八千代エンジニアリング株式会社

8. 委員会資料

資料1：市場ニーズ調査（対話型）実施結果

資料2：ロクハプール基本計画策定スケジュール（変更後）

資料3：第2回検討委員会での主な協議事項

資料4：ロクハ公園プール再整備方針（修正案）

資料5：ロクハ公園プール再整備方針（修正案）ゾーニングイメージ

座席表

9. 議事の概要

1 開会

草津市建設部長より開会の挨拶

2 議事

（1）市場ニーズ調査（対話型）実施結果の報告と基本計画策定スケジュールの変更について

事務局より、以下の資料について説明を行った。

- ・ 資料1：市場ニーズ調査（対話型）実施結果
- ・ 資料2：ロクハプール基本計画策定スケジュール（変更後）

委員：（仮称）草津市立プールでは、事業契約締結から維持管理・運営期間の終了までが18年間となっているが、ロクハ公園プールでも概ね同様とする想定か。

事務局：現時点では、ロクハ公園プールの維持管理・運営は、15～20年間程度とすることを想定している。市としては、長期包括的に委ねることが望ましいと考えているが、民間事業者の意向も確認した上で設定する想定である。

委員：新しいロクハ公園プールはいつ頃の完成予定をしているのか。

事務局：令和11年の完成を目指している。

委員：再整備後のロクハ公園プールは、令和11年度から供用開始予定との理解で良いか。また、供用開始までの期間としては一般的であるか。

事務局：ご理解のとおりである。設計・建設期間を考慮すると概ね一般的なスケジュールであると考えている。

委員：PPPとPFIの違いについてお聞きしたい。

事務局：PPPは「Public-Private-Partnership」の略称であり、官民連携の総称を指す用語である。PFIは「Private-Finance-Initiative」の略称でPPPの手法の1つである。

委員長：市場ニーズ調査（対話型）では、屋内プール化による通年利用に関する関心が高かったとの理解で良いか。

事務局：ご理解のとおりである。

委員長：本委員会では、レジャープールの機能に特化した形で議論を進めてきたため、市場ニーズ調査（公募型）において、民間事業者が望ましいと考える条件について改めて聴取していただきたい。

市場ニーズ調査（対話型）では、プールの通年利用について具体的な意見・提案はあったか。

事務局： 民間事業者からは、屋内プール化によるプール教室の実施やオフシーズンでの釣り堀等のアイデアが挙げられた。

委員： 町内会での意見では、オフシーズンの活用方策として釣り堀やスケートリンク等が挙げられている。

委員： プール教室はフィットネスプールでも実施できるため、ロクハ公園プールでは、ロクハ公園としての特徴を生かした活用方策を検討することが望ましいと考える。また、官民連携手法を導入する上では収益性の確保も重要と考える。

委員： ロクハ公園プールは、オフシーズンに落ち葉プールとして活用されていたことがあり、子どもが小さい頃は楽しんで利用していた。保護者目線では、子どもが楽しめるような機能があると良いと考える。

委員長： ロクハ公園プールだけに注目するのではなく、公園全体の有効活用という視点で検討することも有効と考えられる。

委員： 官民連携手法の導入に当たり、検討委員会からの意見はどのように反映するか。

事務局： 第4回委員会時にロクハ公園プールの再整備に関する条件等について議論し、実施要領等の資料に反映した上で市場ニーズ調査（公募型）を実施する予定である。

委員： 委員会の回数が変更になったが、今後増えることはあるか。

事務局： 市場ニーズ調査（公募型）の結果を踏まえ、開催回数が増える可能性もある。委員の皆様とは、適宜、調整させていただきたい。

委員： 市場ニーズ調査（公募型）では、民間事業者から様々な意見が挙げられると思うが、今後は民間事業者の提案を踏まえて事業者を選定するという理解で良いか。

事務局： 市場ニーズ調査（公募型）において民間事業者の参画意向を確認し、調査の結果を踏まえ、第5回委員会で基本計画（案）に関する議論を進めたいと考えている。

委員長： 市場ニーズ調査（公募型）の実施に向けて、これまでの委員会で挙げられた意見や市民・利用者アンケートから得られた市民意向等を踏まえ、第4回委員会までの間に事務局で条件整理等を進めていただきたい。

（2）第2回委員会を踏まえたロクハ公園プール再整備方針（修正案）について

事務局より、以下の資料について説明

- ・ 資料3：第2回検討委員会での主な協議事項
- ・ 資料4：ロクハ公園プール再整備方針（修正案）
- ・ 資料5：ロクハ公園プール再整備方針（修正案）ゾーニングイメージ

委員： 市場ニーズ調査（公募型）は、具体的にどのように実施する予定か。

事務局： 市のホームページに実施要領等を公表し、一定の提案期間を設けて本事業に対する民間事業者からの提案を受け付ける。設計・建設・維持管理・運営等の各事業者に対してコンソーシアムの組成を促し、具体的な提案を受けたいと考えている。

- 委員： 市場ニーズ調査（公募型）は、民間事業者向けの調査という理解で良いか。
- 事務局： ご理解のとおりである。
- 委員： 市場ニーズ調査（公募型）の結果、民間事業者の参画が困難と判断される場合は、現在の屋内プール部分の屋根を撤去し、夏季限定のプールとする理解で良いか。
- 事務局： 市の直営で実施する場合は、夏季限定のプールとする想定である。
- 委員： 市場ニーズ調査（対話型）において、民間事業者から屋内プール化による通年利用を希望する意見があったとの説明があったが、通年利用が可能でないと民間事業者の参画は難しいとの理解で良いか。
- 事務局： 市場ニーズ調査（対話型）では、各企業において詳細な検討まではされていない段階であったため、現時点では判断が難しい。市場ニーズ調査（公募型）では、十分な提案期間を設けることで、事業収支シミュレーション等も実施した上での提案が得られることに期待している。
- 委員： 民間事業者の意向次第では、本委員会での検討においても、通年利用の選択の余地はあるとの理解で良いか。
- 事務局： 市民・利用者アンケート調査では、レジャー機能の導入に関する要望が多かった。アンケートでの市民意向や本委員会での意見等を踏まえて市場ニーズ調査（公募型）を行い、民間事業者の意向を確認した上で方向性を検討したい。
- 委員： 来年の草津市長選挙で市長が交代した場合、本事業に関する方針等も変更となる可能性はあるか。
- 事務局： 現在のロクハ公園プールは老朽化が進行しており、何らかの対策が求められている状況である。また、整備中の（仮称）草津市立プールとの棲み分けについても検討が必要であるため、市としてロクハ公園プールの再整備に関する検討を進めていくことは必要であると認識している。
- 委員長： ロクハ公園プールは、市外・県外からも利用が見込まれる、草津市にとって優良なレジャーコンテンツであると理解している。今後、更なる発展に向けた議論を進めていければ良いと考える。
- 本日の委員会においても、釣り堀やアイススケート等、プールの有効活用に関する新たなアイデアが挙げられたため、引き続き議論していく余地はあると考える。
- 委員： 令和5年11月5日（日）にロクハ公園にて「志津ふれあい広場」を開催し、過去最高の約5,000人が来場した。そのうち志津学区在住者は約2,500人であったため、学区外・市外・県外から来訪者があったことがわかる。ロクハ公園は県外から人を呼ぶポテンシャルがあると考えている。
- 委員： ロクハ公園プール再整備後に来場者が増加することが想定されるため駐車台数は余裕をもって確保した方が良いと考える。
- 委員長： 市場ニーズ調査（公募型）において、民間事業者がどのようなアイデアを持っているのか確認できると良いと考える。民間事業者と意見の擦り合わせを進める上で難しい部分もあると思うが、うまく対応していただきたい。
- 委員： ロクハ公園プールの再整備に対する予算はどの程度になる見込みか。

- 事務局： 現段階で具体的に固まっていないが、現在の機能のまま更新する場合に要する工事費は約 26 億円である。
- 委員： (仮称) 草津市立プールの工事費はどの程度か。
- 事務局： 約 100 億円である。
- 委員： (仮称) 草津市立プールの工事費は全額市の負担か。
- 事務局： (仮称) 草津市立プールの整備は、国や県からの補助を受けて実施した。ロクハ公園プールの再整備においても、国の補助金の活用を想定している。
- 委員長： 市場ニーズ調査(公募型)の結果、民間事業者の参画が困難と考えられる場合は基本設計に向かうための検討を進める必要があるため、調査と並行して市としての方針を固めることが必要と考える。
- 委員： 第4回委員会では、事務局からどのような説明がなされる予定か。
- 事務局： 市場ニーズ調査(公募型)の実施方法や市ホームページに公表する実施要領(案)について説明する予定である。
- 委員長： 市場ニーズ調査(対話型)では、8社すべてが「条件によっては参画したい」と回答しているが、具体的な条件に関する意見は挙げられたか。
- 事務局： いずれの民間事業者も年間を通じた収益確保が必須であると回答していたため、屋内プール化による通年利用を想定しているものと考えられる。
- 事務局： 民間事業者の参画が難しく、基本設計へと進むことになった場合は、詳細な条件を検討していく必要があるため、委員会の回数を1回程度増やす可能性もある。
- 委員長： 民間事業者からの意見等を踏まえ、引き続き、状況に応じて委員会の場を設け、さらに議論を深めていければ良いと考える。
- 委員： 任期終了後も委員会での議論が継続する場合、委員は変更となるか。
- 事務局： その場合は所属団体と調整させていただき予定である。
- 委員： 資料2において、令和5年6月下旬に議会報告とあるが、ここでは事業の途中経過を報告したという理解で良いか。
- 事務局： ご理解のとおりである。
- 委員： 議会ではどのような意見が挙げられたか。
- 事務局： 民間事業者と十分に協議・調整を図った上で、より良い施設となるように検討を進めていただきたいという趣旨の意見が挙げられた。

3 閉会

草津市建設部 副部長より閉会の挨拶